



心 ひびかせ 川北っ子

# 川上北小だより

## 7月号

かかわり合い  
わかり合い  
きき合い  
たかめ合い

横浜市立川上北小学校  
令和 8 年 6 月 30 日  
戸塚区川上町 63-1  
Tel.045-822-0845

[ky-e-kawakamikita@city.yokohama.lg.jp](mailto:ky-e-kawakamikita@city.yokohama.lg.jp)

### トライ&エラー まずはやってみよう

校長 馬場 弘子

紫陽花の花が日ごとの長雨に色づき、梅雨の訪れを感じます。昨年度の今頃は、梅雨とは名ばかりで暑い日が続いていました。登下校の雨は鬱陶しさもありますが、日中は過ごしやすい気温が続いており、日本の 6 月らしさを久しぶりに感じています。

6 月 6 日に行われました授業公開・学校説明会には、多数お越しいただきありがとうございました。子どもたちが生き生きと学習や活動に取り組む姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。また、5 年生に引き続き、2 年生によるドレミファ集会も行われました。「自分が頑張っている姿をたくさん見てもらいたい」という思いが、おうちの方々にしっかりと伝わっていたように感じます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、学校説明会でお伝えしたように、今年度も本校では子どもたちの主体性を育てるため、さまざまな取組を行っています。昨年度は 6 年生が AI ドリルの学習動画のアイデアを出し、グランプリを受賞しました。その動画も説明会にて公開させていただきました。今年度は、教育委員会研究員が作成した 3・4 年生向けの学習動画を、さらによりよいものにするためにはどのような工夫が必要かについて、6 年生が意見を出し合いました。「大事な部分の文字の色をもっと目立たせたい」「キャラクターの説明はもう少しゆっくりしたほうが聞き取りやすい」「時間はもう少し短いほうが分かりやすい」など、3・4 年生の立場に立った意見が多く出され、グループ討議でも活発な意見交換が行われました。

私が過去に担任をしていた頃は、ドリルは「学んだ内容の習熟度を図るもの」として、主に宿題等で活用してきました。しかし、現在の AI ドリルでは、個々の理解度に応じて AI が問題を出題します。例えば、A さんにつまずきが見られた場合、その場ですぐに結果が分かり、類似した問題が出題されます。また、同じ間違いを繰り返す場合には、さらに前の学習に戻って振り返ることもできます。一方で、その教科が得意な B さんには、理解をより深めるための少し難しい問題が示されます。そして、学習の理解度は瞬時にデータとして帯グラフに表れます。他学年のドリルにも取り組むことができ、苦手な分野が見つかれば下学年の内容に戻ることも、上学年の学習に挑戦することも可能です。こうした点から、個別最適な学びの一助になるものと考えています。

もちろん、AI ドリルだけが学びを深めるものではありません。友だちの考えと自分の考えを比べたり、違いやそれぞれの良さに気付いたりすることは、集団生活を行う学校ならではの学びであり、深い学びにつながるものだと思います。今年度、横浜市では全校で同じ AI ドリルが導入されました。まだ見えていない課題も多くあると思います。「トライ&エラー」で、うまくいかなければやり直し、そこから修正していけばよいと考えています。まずは何事にも恐れず挑戦することを大切にしたいと思います。教職員一同、「トライ&エラー」の精神で授業改善に取り組んでまいります。保護者や地域の皆様のご意見、そして子どもたちの声に耳を傾けながら進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



1 年生が初めて AI ドリルに取り組んでいる様子です。